

「2024年度診療報酬改定に伴う身体的拘束最小化の取組みに関するアンケート」 集計結果

- ① 貴施設における医師、看護師から構成される身体的拘束最小化チーム（委員会）の設置についてあてはまるものを選択してください【一つ選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
設置している	98	83.1%	9	69.2%	107	81.7%
検討中	15	12.7%	0	0.0%	15	11.5%
設置していない	3	2.5%	4	30.8%	7	5.3%
無回答	2	1.7%	0	0.0%	2	1.5%
合計	118	100%	13	100%	131	100%

- ② 設問①（身体的拘束最小化チーム（委員会）の設置有無）で「設置している」あるいは「検討中」とお答えいただいた方にお伺いします

- ②-1 医師、看護師以外で身体的拘束最小化チーム（委員会）に属している職種、または検討している職種についてあてはまるものを選択してください【すべて選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合*	施設数	割合*	施設数	割合*
薬剤師	85	75.2%	1	11.1%	86	70.5%
理学療法士	63	55.8%	6	66.7%	69	56.6%
作業療法士	38	33.6%	3	33.3%	41	33.6%
言語聴覚士	4	3.5%	0	0.0%	4	3.3%
診療放射線技師	10	8.8%	3	33.3%	13	10.7%
臨床工学技士	6	5.3%	0	0.0%	6	4.9%
看護補助者	18	15.9%	4	44.4%	22	18.0%
医療ソーシャルワーカー	36	31.9%	0	0.0%	36	29.5%
事務職	53	46.9%	5	55.6%	58	47.5%
その他	32	28.3%	2	22.2%	34	27.9%

*割合は施設形態ごとの回答対象施設全体（病院113施設、有床診療所9施設、全体122施設）に占める割合を示している

▼「その他」の具体的な職種

- ・管理栄養士（16件）
- ・臨床検査技師（5件）
- ・医療安全管理者（3件）
- ・医師・看護師のみ（3件）
- ・臨床心理士（3件）
- ・精神保健福祉士（3件）
- ・看護師
- ・看護補助者
- ・薬剤師
- ・診療情報管理士
- ・介護支援専門員
- ・社会福祉士
- ・介護福祉士
- ・医療クラーク
- ・ゼネラルリスクマネージャ

②-2 身体的拘束最小化チーム(委員会)の取組み内容についてあてはまるものを選択してください【すべて選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合*	施設数	割合*	施設数	割合*
部署ラウンド	52	46.0%	2	22.2%	54	44.3%
部署カンファレンス参加	54	47.8%	4	44.4%	58	47.5%
施設内の身体的拘束実施状況の把握	109	96.5%	8	88.9%	117	95.9%
職員教育	90	79.6%	6	66.7%	96	78.7%
その他	6	5.3%	1	11.1%	7	5.7%

*割合は施設形態ごとの回答対象施設全体(病院113施設、有床診療所9施設、全体122施設)に占める割合を示している

▼「その他」の具体的な内容

- ・ 体制や把握のシステム化の検討、情報・知識の共有
- ・ 指針の作成、マニュアルの整備
- ・ 事例検討
- ・ 指針の改定
- ・ 身体拘束最小化に関する指針の見直し、身体拘束等の代替案、解除に向けての検討
- ・ 指針の作成及び管理
- ・ 月1回多職種カンファレンスにて定期的な身体拘束評価を実施中

③ 貴施設における、身体的拘束を最小化するための指針の有無についてあてはまるものを選択してください【一つ選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
ある	94	79.7%	8	61.5%	102	77.9%
作成中	20	16.9%	0	0.0%	20	15.3%
ない	3	2.5%	3	23.1%	6	4.6%
無回答	1	0.8%	2	15.4%	3	2.3%
合計	118	100%	13	100%	131	100%

- ⑤ 貴施設における、身体的拘束を行わずにケアを行うための方策の提示の有無について、あてはまるものを選択してください【一つ選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
提示している	48	40.7%	2	15.4%	50	38.2%
提示していない	58	49.2%	9	69.2%	67	51.1%
わからない	11	9.3%	0	0.0%	11	8.4%
無回答	1	0.8%	2	15.4%	3	2.3%
合計	118	100%	13	100%	131	100%

- ⑦ 身体的拘束が必要と判断するためのアセスメントツール等の有無についてあてはまるものを選択してください【一つ選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
ある	78	66.1%	6	46.2%	84	64.1%
ない	28	23.7%	5	38.5%	33	25.2%
わからない	10	8.5%	1	7.7%	11	8.4%
無回答	2	1.7%	1	7.7%	3	2.3%
合計	118	100%	13	100%	131	100%

- ⑧ 身体的拘束に関する同意書の有無についてあてはまるものを選択してください【一つ選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
ある	112	94.9%	10	76.9%	122	93.1%
ない	4	3.4%	2	15.4%	6	4.6%
わからない	1	0.8%	0	0.0%	1	0.8%
無回答	1	0.8%	1	7.7%	2	1.5%
合計	118	100%	13	100%	131	100%

⑨ 設問⑧(身体的拘束に関する同意書の有無)で「ある」とお答えいただいた方にお伺いします。

⑨-1 身体的拘束に関する同意書を交わすタイミングについてあてはまるものを選択してください【一つ選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
入院時	40	35.7%	6	60.0%	46	37.7%
身体的拘束の必要性を判断するためのアセスメントツール等に則り交わしている	22	19.6%	0	0.0%	22	18.0%
身体的拘束を実施するとき	43	38.4%	3	30.0%	46	37.7%
その他	7	6.3%	1	10.0%	8	6.6%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	112	100%	10	100%	122	100%

▼「その他」の具体的な内容

- ・ 入院時に転倒・転落防止説明・同意書を得るが、その一部に緊急の場合の身体拘束の可能性について説明。実際身体拘束を行う時に同意書を交わす。
- ・ 手術前の説明時
- ・ 入院時や手術・処置前など医師が治療経過について説明を行なう際に、拘束が必要となる可能性があることを説明し同意書を作成している。
- ・ 予測可能な場合は入院時、又はカンファレンスで必要と判断したとき
- ・ 身体拘束が必要と予測される時は入院時、予測されていない場合は、実施する時。
- ・ 入院時・身体拘束の開始時・身体拘束の方法の変更時・解除後に再び拘束を実施するとき等、都度行っている。
- ・ 認知症やせん妄、精神疾患等の既往のある方の場合は入院時に、創でない場合は身体的拘束が必要となったと時に

⑨-2 身体的拘束に関する同意書を交わす対象者についてあてはまるものを選択してください
【すべて選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合*	施設数	割合*	施設数	割合*
全ての入院患者	25	22.3%	3	30.0%	28	23.0%
せん妄の既往歴がある方	29	25.9%	3	30.0%	32	26.2%
その他既往歴がある方	12	10.7%	1	10.0%	13	10.7%
年齢を決めている	3	2.7%	0	0.0%	3	2.5%
医師の判断	47	42.0%	7	70.0%	54	44.3%
看護師等の依頼	31	27.7%	7	70.0%	38	31.1%
身体的拘束の必要性を判断するためのアセスメントシート等で決められている	46	41.1%	2	20.0%	48	39.3%
その他	18	16.1%	0	0.0%	18	14.8%

*割合は施設形態ごとの回答対象施設全体(病院112施設、有床診療所10施設、全体122施設)に占める割合を示している

▼「その他既往歴がある方」の既往歴について

- ・ 認知症(8件)
- ・ 精神疾患
- ・ 脳血管障害
- ・ アルコール依存症

▼「年齢を決めている」の年齢について

- ・ 75歳以上

⑩ やむを得ず身体的拘束を開始した場合の身体的拘束の継続・解除に関する評価(アセスメント) 間隔についてあてはまるものを選択してください【一つ選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
6-7回/週 行っている	58	49.2%	1	7.7%	59	45.0%
2-5回/週 行っている	7	5.9%	1	7.7%	8	6.1%
1回/週 行っている	20	16.9%	3	23.1%	23	17.6%
決まりはないが行っている	13	11.0%	3	23.1%	16	12.2%
行っていない	1	0.8%	1	7.7%	2	1.5%
その他	16	13.6%	3	23.1%	19	14.5%
無回答	3	2.5%	1	7.7%	4	3.1%
合計	118	100%	13	100%	131	100%

- ⑫ 身体的拘束最小化に向けた職員教育研修の実施の有無についてあてはまるものを選択してください【一つ選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
実施している	91	77.1%	6	46.2%	97	74.0%
実施していない	25	21.2%	6	46.2%	31	23.7%
無回答	2	1.7%	1	7.7%	3	2.3%
合計	118	100%	13	100%	131	100%

- ⑬ 設問⑫（職員教育研修の実施の有無）で「1. 実施している」とお答えいただいた方にお伺いします。

- ⑬-1 教育研修内容についてあてはまるものを選択してください【すべて選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合*	施設数	割合*	施設数	割合*
外部講師による講演	10	11.0%	0	0.0%	10	10.3%
内部講師による講演	59	64.8%	5	83.3%	64	66.0%
E-ラーニング視聴	42	46.2%	0	0.0%	42	43.3%
身体的拘束体験	13	14.3%	0	0.0%	13	13.4%
その他	6	6.6%	1	16.7%	7	7.2%

*割合は施設形態ごとの回答対象施設全体（病院91施設、有床診療所6施設、全体97施設）に占める割合を示している

- ⑬-2 教育研修に参加している職種についてあてはまるものを選択してください【すべて選択】

選択肢	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合*	施設数	割合*	施設数	割合*
医師	65	71.4%	3	50.0%	68	70.1%
看護師	91	100.0%	6	100.0%	97	100.0%
薬剤師	62	68.1%	0	0.0%	62	63.9%
理学療法士	65	71.4%	3	50.0%	68	70.1%
作業療法士	57	62.6%	2	33.3%	59	60.8%
言語聴覚士	47	51.6%	0	0.0%	47	48.5%
診療放射線技師	56	61.5%	2	33.3%	58	59.8%
臨床工学技士	39	42.9%	1	16.7%	40	41.2%
看護補助者	72	79.1%	4	66.7%	76	78.4%
医療ソーシャルワーカー	53	58.2%	0	0.0%	53	54.6%
事務職	52	57.1%	3	50.0%	55	56.7%
その他	17	18.7%	1	16.7%	18	18.6%

*割合は施設形態ごとの回答対象施設全体（病院91施設、有床診療所6施設、全体97施設）に占める割合を示している

▼「その他」の具体的な職種

- ・管理栄養士（10件） ・臨床検査技師（4件） ・介護福祉士（2件）
- ・ケアマネージャー、社会福祉士 ・臨床心理士 ・精神保健福祉士
- ・清掃・給食など委託職員 ・全ての職種を対象

⑩ 貴施設の2024年10月の身体的拘束率をご記入ください

身体的拘束率	病院		有床診療所		全体	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
5%未満	45	38.1%	8	61.5%	53	40.5%
5%以上10%未満	15	12.7%	0	0.0%	15	11.5%
10%以上15%未満	16	13.6%	1	7.7%	17	13.0%
15%以上20%未満	13	11.0%	0	0.0%	13	9.9%
20%以上	15	12.7%	2	15.4%	17	13.0%
無回答	14	11.9%	2	15.4%	16	12.2%
合計	118	100%	13	100%	131	100%

≪身体的拘束率の平均値・中央値≫

	病院	有床診療所	全体
平均値	10.2%	9.6%	10.1%
中央値	6.9%	0.0%	6.0%